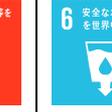


# あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)2022年6月27日

団体名	にじいろアート教室			T E L	090-8382-5786				
代表者名	深 千香			メールアドレス	hukatika@yahoo.co.jp				
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてくださ い									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2030年までに達成したいこと	<p>①住み慣れた地域や場所で、心身ともに健やかな生活を送るため、アート活動に参加する機会と地域交流をおこなう場を提供する。</p> <p>②絵画や立体造形、工芸、小物制作などの創作活動や作品鑑賞を通して、想像力を豊かにし、美的体験を重ねることで、子どもから高齢者までが生涯にわたり、心身ともに生き生きと暮らせるような社会作りを目指す。</p>								
重点的な取組 (※)	【取組①】				目標値 / 達成年				
	<p>●取組の趣旨・目的</p> <p>コロナ禍で引きこもりがちになり、気持ちも沈み、フレイルリスクが高まった人が増えている。そこで、楽しく絵を描き、ワクワクするような作品制作ができる教室や、美術館の鑑賞会、スケッチ旅行などのイベントを自治体で開催することで、たくさんの方が生涯にわたり美的で心豊かに過ごせるよう、QOL(クオリティオブライフ)の向上をめざす。</p> <p>また、コロナ禍では、適切な換気が必要であるため、密にならないような環境のもと、誰もが安心して参加ができる地域交流の場をめざす。</p> <p>●具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第2・第4火曜に藤が丘公民館にて、絵画造形教室を開催</li> <li>・デイサービスや高齢者施設での教室の開催</li> <li>・スケッチ遠足や美術館鑑賞会などのイベントを開催</li> <li>・外部講師や学生ボランティアの活用</li> </ul>				<p>●参加人数</p> <p>年 200人以上 /2026年 (現状)</p> <p>年 120人/2021年</p>				
					該当するゴール				
				   					

デッサンや模写の練習



スケッチ遠足



【取組②】

●取組の趣旨・目的

細々と自宅で作品制作をされている方が明石市内でも沢山おられるにもかかわらず、発表の場がない事に気が付いた。

そういった方々と交流し、発表の場を設定することで、明石市から文化芸術の素晴らしさを発信できるようにする。

●具体的な取組内容

- ・明石市内の文化活動をされている方々と連携をとる
- ・展覧会の開催
- ・ワークショップの企画

目標値 / 達成年

- スケッチ遠足  
年に2回/2022年
- 展覧会  
明石文化博物館での展示/2026年  
(現状)  
明石公園ギャラリーにて生活向上委員会メンバー16名だけの作品展示/2021年

該当するゴール

2021年  
明石公園パークギャラリー 展示





【取組③】

目標値 / 達成年

●取組の趣旨・目的

子どもたちが持続可能な生活を築けるように、芸術の力を借りて、質の高い教育をおこなう。

コロナ禍により、子どもたちを取り巻く環境が劇的に変化し、学校や地域が抱える課題も複雑化、困難化してきている。その1つとして、人工知能(AI)があげられる。この人工知能により、実体験のない生活の中で細やかな感情や感性が損なわれてきている。また2つめに、人とのコミュニケーション不足があげられる。これにより、協力し合って物事を達成する機会が激減した。3つめに、子どもの体のあらゆる機能が損なわれているともいわれている。

そこで、実際に、海や川で生きものと触れ合い、生きものの生態を学びながら生きものの逞しさや美しさを知り、命の大切さに気付かせ、地球環境について学ぶ機会を提供する。また実物を観察し、スケッチすることで自然の織りなす美しさを発見できるようにする。

さらに、全身を使った遊びや、チームワークで課題を解決するゲームを自分たちで提案し取り組むことで、協調性や主体性を身に付け、達成感を感じられるようにする。

子どもの気持ちや考えを尊重しながら、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、また、子どもたちが学んだものを社会の在り方に結び付けて人生を豊かにできるような「生きる力」を身に付けられる根源的な社会教育の場をめざす。

●具体的な取組内容

- ・元明石高等学校美術科専任教員、元特別支援学校美術教員による質の高い教育の提供。
- ・お互いが尊重し合いありのままの存在を認め合って過ごす場の提供。
- ・海や畑、森など外の自然環境教育を取り入れた総合学習の提供。
- ・毎月第2・第4火曜日と毎週土曜日に藤が丘公民館にて教室を開催。
- ・外部講師や学生ボランティアの活用。
- ・毎週土曜日に子どもたちへ絵画や立体造形、身体表現などのアート体験ができる教室を開催。

●毎月の参加人数  
30人/2026年(現状)  
18人/2022年

該当するゴール



庭や畑で採れた植物で草木染めをしよう！



伝えたいことを描いた凧を自然素材で作って、大空にあげよう！





浜辺の動植物の生態を知って、  
プラスチックゴミを拾って、何か作ってみよう！

さつまいも掘りを体験して、  
絵に描いてみよう！



海で遊んでスケッチしよう！

